

旧広島陸軍被服支廠に係る第 3 回懇談会等の開催について

1 要旨・目的

旧広島陸軍被服支廠の活用について、令和 4 年度末までに、実現可能性のあるアイデアを「活用の方向性」として、複数案取りまとめるため、「第 3 回旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性に係る懇談会」（以下「第 3 回懇談会」という。）及び「第 2 回旧広島陸軍被服支廠の活用を考えるワークショップ」（以下「第 2 回ワークショップ」という。）を開催する。

2 現状・背景

建物の安全対策を早急に進める必要があることから、耐震性を確保しつつ、内部見学などの利用が可能となる安全対策と最小限の利活用を同時に実現するパターンを基に、建物 3 棟の安全対策の実施設計業務に着手した。

併せて、重要文化財の指定に向けて、建築物の価値調査に着手した。

また、重要文化財の指定を見据え、指定後に必要となる建物の管理・活用の方向性等を定める保存活用計画の検討を進めるため、有識者等で構成する懇談会を設置・開催し、活用の方向性の取りまとめに着手した。

3 概要

(1) 第 3 回懇談会の開催について

ア 実施主体

県

イ 日時

令和 4 年 3 月 22 日（火）10 時 00 分～

ウ 場所

広島県立総合体育館 中会議室

エ 実施内容（予定）

議題 1：懇談会委員による活用アイデアの提供

活用の方向性の取りまとめに向け、懇談会での検討・議論の参考とするため、懇談会委員から分野に応じた被服支廠の活用アイデアなどの提供を行う。

分野	発表者
建 築	あ べ りょう 安 部 良 （安部良アトリエ一級建築士事務所主宰） ※コア委員
住 民 団 体	なか にし いわお 中 西 巖 （旧被服支廠の保全を願う懇談会代表） ※分野別委員
被爆者団体	み まき とし ゆき 箕 牧 智 之 （広島県原爆被害者団体協議会理事長） ※分野別委員

議題 2：被服支廠の活用を進めるための検討のポイント・基本的な方針

活用の方向性に取りまとめに向けた視点・基本的な考え方について意見交換を行う。

(2) 第2回ワークショップの開催について

ア 実施主体

県

イ 日時

令和4年3月13日（日）13時00分～

ウ 場所

県庁自治会館 101 会議室

エ 実施内容（予定）

議題1：懇談会委員等からの活用アイデアの提供

ワークショップでの活用の意見交換の参考とするため、懇談会委員等からワークショップメンバーに対し、分野に応じた活用アイデアなどの提供を行う。

分野	発表者
文化・芸術	つみやま 積山 ミサ (NPO法人ひろしまインターネット美術館理事) ※コア委員
住民団体	たがしゅんすけ 多賀 俊介 (旧被服支廠の保全を願う懇談会副代表) ※分野別委員代理
インバウンド 観光	ポール ウォルシュ (株式会社JizoHat 代表取締役) ※分野別委員

議題2：被服支廠の活用の検討に当たって必要な視点

懇談会委員等からの情報提供などを踏まえ、活用に当たって必要な視点等について、意見交換を行う。

4 その他

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、これら懇談会等の実施方法や内容について、変更することがある。